



自治労HP



ご意見フォーム



じちろろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円

(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

第32回全日本自治体職員等女子バレーボール選手権全国優勝大会



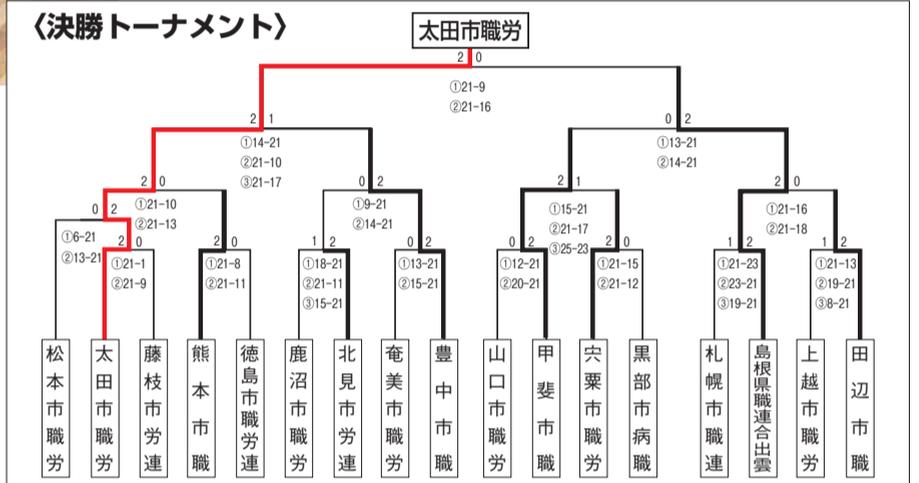
太田市職労が若さ溢れるチームワークでVもぎ取る

太田初V

市職労

第32回全日本自治体職員等女子バレーボール選手権全国優勝大会(主催:自治労・自治労共済推進本部・自治労共済生協)は12月2~4日、和歌山市で開催。太田市職労(群馬)が、出場22チームの頂点に立ち初優勝した(2面)。

〈決勝トーナメント〉



自治労・日本看護協会トップ会談 質の高い看護のための労働環境改善を

11月29日、自治労は日本看護協会とトップ会談を行った。看護職員の人員確保や、処遇改善・労働環境改善等の共通課題への取り組みについて意見交換を行った。質の高い看護とやりがいのある職場づくりに向け協力することを確認した。



日本看護協会の高橋弘枝会長(左)と石上千博委員長(右)

会談の詳細は右記QRコードより。

ありったけの現場力清掃職員編 YouTube公開中



清掃職員が京都の人々の暮らしに受け継がれてきた「しまつのこころ」を最前線で実践している。

自治労は、清掃職場のAPI動画「ありったけの現場力」を12月8日に公開した。京都の未来を創る清掃職員の「現場力」ここにあり。



自治労2024春闘中央討論集会



12月7~8日、自治労は2024春闘中央討論集会を開催した。2024春闘は、連合の賃上げ要求「5%以上」の方針に続き、大規模な賃上げを要求する。自治労が春闘を闘う意義を強調し、民間企業の賃上げの要求を表明し、社会全体の機運を高めている。

2024春闘

経済・社会のステージ転換のとき 気持ちも転換 2024春闘を闘おう

2日目は、立命館大学准教授の富永京子さんが「安心できる職場づくりのための労働組合」と題する講演を行った(詳細左)。最後に、石上千博委員長が「経済、賃金、物価が安定的に上昇する経済社会構築のため、自治体もステージ転換をはかるときがきた。自治労として地方財政や交付税の増額を強く要求するだけではなく、全国の自治体にも声を上げてもらわなければならない。我々も、気持ちを転換させ2024春闘を闘おう」と述べ、力強い団結を呼びかけた。2024春闘方針は、1月末の第165回中央委員会で正式に決定する。

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

税制適格年金

退職後の年金のために、**在職中に積み立て**を行う共済です。

〈掛金〉
月払5,000円コース
月払10,000円コース

在職中の掛金は「個人年金保険料控除」の対象になります。

団体生命共済とともにご利用ください。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



富永 京子
1986年生まれ。立命館大学産業社会学部准教授。
日本人は社会から受ける理不尽な苦しみを自己責任として捉える傾向が強い。さらに、個人化・多様化が進む中で、自分だけ「声をあげること」に対してハードルが高くなっている。また、調査結果では「労働組合が何かわからない」との回答が多数を占めており、労働組合の社会的機能が認知されていない実態が明らかだ。組合運動の第一歩として、労働組合が自分の悩みや困りごとを声にする場、自分の利害を大切にしたい現場であることを伝えよう。労働組合として小さな成果を積み重ね継続的な社会運動に繋げて欲しい。

労働組合は「自分を大切にしている現場」

女子バレー全国大会は、コロナ禍による延期を経た4年ぶりの開催となった。最終日・12月4日の準決勝と決勝には初出場チームも勝ち上がり、どのチームが勝っても初優勝となる好カード。熱戦を制したのは、若さにあふれ攻守のバランスに優れる太田市職労(群馬)。



太田市職労が優勝を決めた瞬間

勝 太田市職労(群馬) 2 (21-9) 0 島根県職連合出雲
決 若さとバレー 機動力VS根性
攻撃力で太田が圧倒
決勝戦は、最多出場26回、優勝2連覇の記録を持つ王者・松本市職労をセツトカウント2-0で撃破した太田市職労と、出場回数13回で同じく2連覇の戦歴を持つ古豪・札幌市職連をセツトカウント3-1で破った島根県職連合出雲支部との対戦。若さと機動力の太田、打たれても拾ってつなぐ「粘り」の島根という、タイプの異なる両チームの衝突となった。

第1セットは、太田が攻撃力をいかんなく発揮し終始リード。セッター今井の变化に富む巧みなトスを受

初優勝かけた4強の激闘 太田市職労(群馬)が制す

準決勝

太田市職労(群馬) 2 (14-21) (21-10) (21-17) 1 豊中市職(大阪)

粘る豊中 太田押し切る

打点の高い長身の廣瀬のスパイクを軸に、時間差やクイックを駆使した巧みな攻撃が奏功し、豊中が第1セットを先取る。しかし第2セットから太田が猛反撃を開始する。太田が猛反撃を開始する。太田が猛反撃を開始する。

準決勝

島根県職連合出雲 2 (21-13) (21-14) 0 甲斐市職(山梨)

堅い守り 甲斐を阻む

甲斐市職は「ワンチャンス」の勝利を何度も掴み、関東甲第3代表から這い上がった今大会初出場のタークホース。準々決勝は、し



太田市職労の選手がスパイクを打つ瞬間。豊中は必死に食い下がり、激しい応酬が続くも、最後は太田が力豊中を押し切った。



太田市職労の選手がボールを運ぶ瞬間。最後は追い上げる甲斐を振り切り、島根県職連合がセツトカウント2-0で勝利した。

勝利監督賞



太田市職労 金井修也

ともに苦しい時を乗り越えて

コロナ禍で目標とする大会がないときや、仕事が忙しくて疲れているときでも、私たちは週1回以上の練習を続けてきました。ともに苦しい時を乗り越えたこと、バレーボール経験者を中心となってチームワークを高めたことで、一体感が生まれました。そのおかげで、この優勝を勝ち取ることができたと思います。

最優秀選手賞



太田市職労 今井咲希

監督の力あってこそ

得点を重ねた選手がいる中で、自分が最優秀選手賞を受賞したことに驚いています。私たちの世代の考え方や各選手を尊重し、チームをまとめ最大限の力を引き出した監督の力があってこそ優勝することができました。若さと体力とチームワーク、そして勝利への気持ち。どのチームにも負けていなかったと思います。

敢闘賞



島根県職連合出雲支部 上野友香

「次こそは頂点を」の気持ち

決勝はボールに食らいつくのに精いっぱいでしたが、最後まで楽しくプレーできました。とにかくボールを「拾い負けることだけはしない」気持ちでした。コロナとのたたかひの中、メンバーの勤務を調整して練習してきました。これまでに全国大会は3位までだったので、今回が最高成績。「次こそは頂点を」の気持ちです。

個人賞

サーブ賞: 太田市職労 山田有里

アタック賞: 太田市職労 太津実由

レシーブ賞: 太田市職労 村上はるか

BOOK

日台の狭間から「魯肉飯のさえずり」を問う

温 又柔

「魯肉飯」は、台湾語では「ロバパン」と発音する。代表的な台湾料理で、屋台料理の定番。庶民の味、家庭の味だ。作者の温又柔は、台湾に生まれ幼少時に来日。日本語で作品を発表してきた女性の作家である。

主人公の桃嘉は子どものころ、台湾語と中国語と日本語のまぜこぜ言葉を話す台湾人の母・雪穂を恥ずかしく思っていた。就活に挫折する中、プロ

ポーズを受けて結婚し主婦となるが、夫の聖司は桃嘉の作る魯肉飯を「こういうのは日本人の口にあわない」「普通の料理の方が俺は好きなんだよね」と言い放つ。昔の恋人と浮気もしている。言葉がうまく通じないが、分かってあげる母。言葉は通じることが通じない。桃嘉は母の故郷・台湾で母のルーツを見つめ直し、自立の道を歩み出す。軽快な文章。魯肉飯の甘い八角の香りが漂うような、心温まる物語のラスト。しかしそれは表層にすぎない。デビュー以来の作者の一貫したテーマである「普通であること」への問いにシエンドー課題を重ねた、闘志あふれる作品だ。



中公文庫 946円+税